

学校沿革

本校の沿革および地域の特徴

① 本校の地域

旧東海道の保土ヶ谷宿から西へおよそ3Km、旧東海道の道筋に開けたまちで、学区内には境木地蔵・一里塚・代官屋敷・投げ込み塚、など近世の史跡が点在している。

国道1号線の拡張整備に伴い、昭和30年代後半から、それまでの雑木林の丘陵地が宅地化された。保土ヶ谷方面より徐々に住宅が建ち、40年代には大企業の寮が建ち並ぶようになった。それに伴い児童数も急増し、プレハブ校舎が建ち並ぶ時代もあった。

本校は、昭和42年4月、横浜市立境木小学校として独立した。

昭和54年4月、権太坂小学校、六ッ川西小学校が本校より独立した。

昭和56年、国鉄（現JR）横須賀線東戸塚駅開業に伴い、宅地造成は広がり、グリーンタウンができた。また、平成10年の環状2号線の開通に伴い集合住宅が増え、児童数も増加した。同時に学区内の幹線道路の交通量も増加している。

学区は新興住宅地として発展した町であるが、近年は町内会の活動も活発であり、学校教育に対する地域・保護者の関心も高く、学校への協力も大きい。

② 児童の特性

本校の児童のよさは、自分の思いや願いを素直に表現し、自分のよさを伸ばそうとすることである。また、興味を持ったことには集中して取り組み、課題をすすんで解決しようとする。反面、困難に立ち向かう強さや、根気強さ、自分から課題を見つけて取り組んでいく力に弱い面もある。

③ 本校の沿革

昭和39年～40年3月	第1期工事着工 鉄筋コンクリート3階建て、4教室完成
40年4月1日	横浜市立初音ヶ丘小学校境木分校として開校 児童数175名
41年3月	仮設教室4教室
41年4月1日	4年生まで8学級 児童数324名、教職員9名
41年8月～42年2月	第2期工事 鉄筋3階建て8教室完成
42年4月1日	横浜市立境木小学校開校 初代校長 前田佐一着任
43年3月	B棟6教室完成

43年9月1日	第2代校長 木村文彦着任
44年4月	C棟6教室完成
45年3月	体育館完成
46年4月	仮設教室4教室増設、47年3月撤去
47年7月	プール完成
48年9月1日	第3代校長 木内義一着任
52年9月1日	第4代校長 林 敦子着任
54年4月	権太坂小学校、六ッ川西小学校が独立 仮設教室撤去
57年3月	創立15周年記念祝賀会 記念全校文集発行 地番変更に伴い、所在地が戸塚区平戸三丁目48番1号となる。
57年9月1日	第5代校長 宇田川喜太郎着任
60年4月1日	第6代校長 廣瀬唯司着任
62年4月1日	第7代校長 足立謙三着任
62年5月	創立20周年記念式典・祝賀会挙行 校歌制定
63年12月	藤棚設置
平成元年4月1日	第8代校長 鈴木正雄着任
10月	横浜博記念植樹（クスノキ、ユリノキ）
3年4月1日	第9代校長 藤脇恭子着任
5年10月	市民図書開設
7年4月1日	第10代校長 藤原正男着任
9年5月	創立30周年記念式・祝賀会挙行
10年2月	C棟耐震工事
11年4月1日	第11代校長 守屋壽堯着任
12年2月	第12代校長 佐久間 誠着任
14年8月	仮設教室設置
15年4月	第13代校長 藤田義枝着任
17年4月	第14代校長 寺木 博着任
18年8月	耐震工事完了

	20年1月	A棟屋上防水シート張替
	20年4月	給食民間委託
	20年6月	プール改修
	21年1月	体育館改修
	21年4月1日	第15代校長 瀬尾芳保着任
	22年3月	太陽光パネル設置
	24年8月	エアコン設置
	25年8月	外壁改修
	26年4月1日	第16代校長 大野まゆみ着任
	28年3月	B棟トイレ改修
	28年10月	図書室B棟2階へ新設
	29年3月	B棟廊下防火扉設置
	29年10月	創立50周年記念式・祝賀会挙行
	30年4月1日	第17代校長 樋代洋子着任
	31年4月	放課後キッズクラブ開設
令和	3年4月1日	第18代校長 清見克明着任
	3年10月	A棟トイレ改修
	3年12月	非常放送設備改修
	4年8月	体育館道路側壁面補修
	5年1月	体育館道路側壁面改修
	5年2月	防犯カメラ増設
	5年3月	給食棟脇通用門設置
		個別支援級アコーディオンカーテン設置